

5節 もっと知りたい！そんな時は？

皆さんが育児をしていく上での悩みをもったときは、サポーターや支援機関に相談することが考えられますが、同じような悩みや課題を抱えているお子さんとその保護者の方の体験談を読んだりきいてみたりするのも、皆さんのサポートになるかもしれません。

体験談を読むことで、「皆、同じような難しさがあるんだ」と気づいたり、「子どもにこうやってサポートしたらいいんだ」と分かったり、「小学校を卒業したら次は〇〇を頑張ることが必要なのね」と考えることができたりと、不安の軽減や視野が広がることにつながることでしょう。加えて、お子さんのきこえの状況やそれによる影響を保護者が知っておくことも有効かもしれません。この後紹介する支援施設では、なんちょう難聴体験*¹⁷を実施している場合がありますので、参加してみてください。

また、体験談を見るだけではなく、実際に同じような悩みや課題を抱えて成長した大人と出会うことで、皆さんもお子さんも、「将来はこんな素敵な大人になっていくんだ」と実感することができるようになります。このような大人のことを「ロールモデル」と呼びます。ロールモデルと出会うことで、皆さんが育児に悩んだ時や、お子さんがきこえの課題に悩んだ時に、解決方法を考えるための指針にもなりますし、課題と向き合い、前に進むためのモチベーションにもなります。

ロールモデルとなる人物とは、例えば、学校の先輩やきこえの課題を持つ子ども達のコミュニティで出会えるかもしれませんし、きこえのサポーターや支援機関が紹介してくれるかもしれません。ぜひ、お子さんと一緒にいろんな場所に出向いてみてください。多くの出会いを通して皆さんもお子さんも視野が広がり、そして、きこえの課題と付き合っていくヒントが得られると思います。

* 17 なんちょう難聴体験とは、きこえる人が、疑似的にきこえない・きこえにくい状態を体験することで、きこえない・きこえにくい人の状況や課題を知ることができるものです。

ここでは、皆さんとお子さんの支援を行っている場所の他に、体験談を見ることができる場所や、皆さんがロールモデルに出会える場所を紹介し
ます。また、巻末で紹介している自治体の支援拠点などでも紹介してくれるか
もしれません。

それから、インターネットを通じた相談や手話指導などの支援や、きこえ
の課題についての専門的な支援*¹⁸を実施している団体や機関もあるので、
探してみるのもよいでしょう。

■皆さんとお子さんに対して支援を行っている地域の施設

皆さんが住む地域には、皆さんとお子さんの相談に乗り、支援を行ってい
る施設・団体があります。このような施設では、いろいろな課題を持つ子ども
の支援をしていることもありますので、お子さんの状態にあった支援内容の
提供があるかについては事前に情報を集めることも必要です。まずは、相談
支援事業所し えん じ ぎ ょう し ょなどに相談することで地域の実情を知ることができます。場所
の一例は次の通りです。

- 相談支援事業所そ う だん し えん じ ぎ ょう し ょ：利用者に寄り添いながら、地域でどのような支援が活
用可能かについての相談に乗ってくれます。必要に応じて、学校を含め
た会議を行ったり、サポート内容のモニタリングを行うこともあります
- 児童発達支援事業所（センター）じ どう はっ たつ し えん じ ぎ ょう し ょ：未就学の子どもの発達に関する支
援を行います
- 地域の特別支援学校（特に、乳幼児教育相談）に ゅ う よ う じ き ょ う い く そ う だん：きこえの課題がある子
どもの専門的な支援を行ったり、保護者の相談に応じたりします
- 放課後等デイサービス事業所：就学後の子どもの支援を行います
- 産後ケア施設など：お子さんのきこえの状態にかかわらず、皆さんのサ
ポートを実施しており、自治体が費用を助成していることもあります

兵庫県では、

- ◎ こばと聴覚支援センター（兵庫県立こばと聴覚特別支援学校内）
- ◎ 兵庫県こどものきこえ相談センター（県立聴覚障害者情報センター内）
- ◎ 神戸長田ふくろうの杜

※連絡先等については巻末参照

* 18 きこえの課題に対しては、各種字幕ツールや電話リレーサービス、聴導犬など、様々なサポートが行われていま
すので、ぜひ調べてみてください。

■体験談を知ることができる場所

きこえの課題を持つ子どもとその保護者の方の体験談は、きこえの専門の各種支援機関・当事者団体・支援学校が作成している資料やウェブサイトなどで主に見ることができます。ウェブサイトなどでは具体的な体験談を知ることが難しい場合もあるので、近くの施設に実際に足を運んで見るとよいでしょう。場所の一例は次の通りです。

- 聴覚障害特別支援学校ちようかくしやうがいとくべつしえんがっこうが作成している資料
- きこえの専門の医療機関が作成している資料・ウェブサイト
- きこえの支援機関（自治体・行政）が作成している資料・ウェブサイト
- 当事者団体・支援者団体が作成している資料・ウェブサイト
- 補聴器じんこうないじ・人工内耳などの事業者・業界団体が作成している資料・ウェブサイト
- 児童発達支援センターじどうはったつしえんが作成している資料・ウェブサイト

- ◎ 兵庫県立こばと聴覚特別支援学校（令和8年4月より「兵庫県立むこがわ特別支援学校」内へ移転）
- ◎ 尼崎市聴力障害者福祉協会
- ◎ 神戸長田ふくろうの杜

※連絡先等については巻末参照

■ロールモデルや、きこえの課題がある子どもとその保護者に 出会う場所

ロールモデルに出会える場所としては、地域のきこえに関する支援機関・団体が主に挙げられます。他にも、当事者団体への参加や、きこえの専門医に紹介してもらえることもあります。場所の一例は次の通りです。

- 地域の特別支援学校とくべつしえんがっこう（特に、乳幼児教育相談にゅうようじきょういくそうだん・保護者向け講座など）
- 児童発達支援事業所じどうはったつしえんじぎょうしょ（センター）
- 地域の手話講習会・サークル活動
- （きこえの課題がある人々に関する）当事者団体・支援者団体・保護者団体

- ◎ 尼崎聴覚障害者センター
- ◎ 尼崎市聴力障害者福祉協会
- ◎ 尼崎市聴覚障害者コミュニケーション支援センター
- ◎ 尼崎市の手話サークル
- ◎ 兵庫県立こばと聴覚特別支援学校（令和8年4月より「兵庫県立むこがわ特別支援学校」内へ移転）
- ◎ 兵庫県こどものきこえ相談センター（県立聴覚障害者情報センター内）
- ◎ 兵庫県難聴児親の会

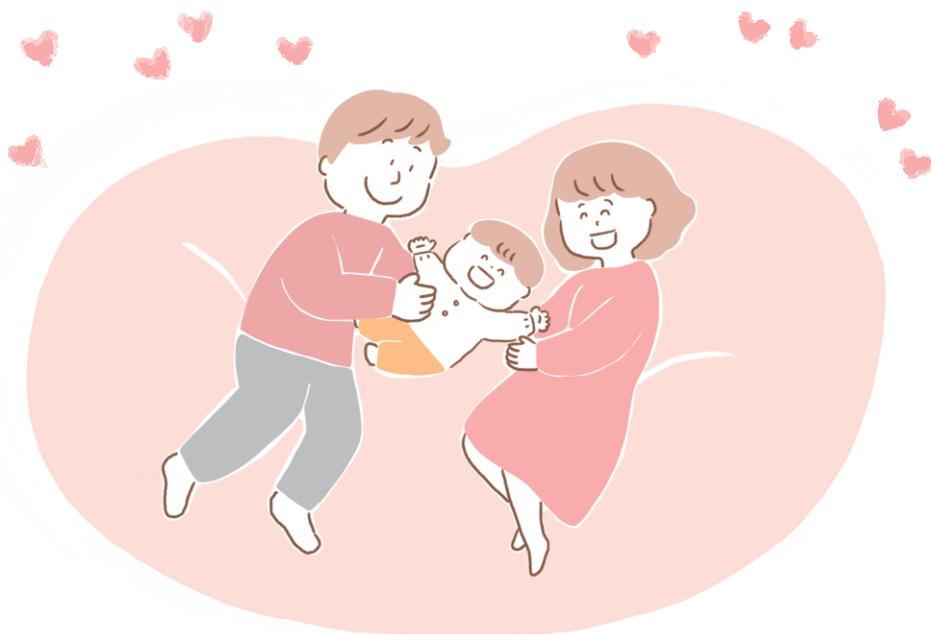
※連絡先等については巻末参照

さいごに

ここまで読んでいただき、ありがとうございました。

巻末に、皆さんがお住まいの地域のきこえについての支援の内容や、きこえの専門の支援団体や機関についての情報を掲載しました。お子さんについて、ききたいこと・相談したいことがあるとき、あるいは皆さん自身の心のよりどころとして、ぜひ連絡をとってみてください。もちろん、特に困ったことが無い場合でも、皆さんとお子さんの世界を広げるために、いろんな人に出会っておくことは重要です。ぜひ、可能な範囲で連絡を取ってみたり、実際に足を運んでみたりするとよいでしょう。

皆さんとお子さんがこれから過ごす時間が、健やかで楽しいものとなることを、心から願っています。



尼崎市における行政機関の窓口や支援施設など

ご相談の内容によって、さまざまな窓口があります。まずは、尼崎市役所の障害福祉課へご連絡ください。

○ 尼崎市障害福祉課 〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1

Tel : 06-6489-6397 Fax : 06-6489-6351

< 尼崎市内の関連施設 >

○ 尼崎市北部保健福祉センター 〒661-0012 尼崎市南塚口町2-1-1
北部障害者支援課 Tel : 06-4950-0374 Fax : 06-6428-5118
北部地域保健課 Tel : 06-4950-0637 Fax : 06-6428-5110

○ 尼崎市南部保健福祉センター 〒660-0876 尼崎市竹谷町2-183
南部障害者支援課 Tel : 06-6415-6246 Fax : 06-6430-6803
南部地域保健課 Tel : 06-6415-6342 Fax : 06-6430-6850

◎ 尼崎市聴覚障害者コミュニケーション支援センター
〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1 尼崎市役所中館1階
Tel : 06-6430-9485 Fax : 06-6430-9489

< 兵庫県内の関連施設 >

◎ 兵庫県こどものきこえ相談センター（県立聴覚障害者情報センター内）
〒657-0832 神戸市灘区岸地通1-1-1 灘区民ホール2階
Tel : 078-600-0556 / Fax : 078-805-4192
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/kodomonokikoe.html>

兵庫県立聴覚障害者情報センター
Tel : 078-805-4175 / Fax : 078-805-4192